

読めばわかる!? 精神障害を扱った本をご紹介します。

# 精神障害がわかる本

## 精神障害



**精神障害者にとって働くとは**  
**星野文男、大村佑二、香野英勇 著**  
 (やどかりブックレット)

自らの体験を語ることで、偏見・誤解を改め、正しい理解を求め、人生について考えたいという思いを込めた、精神障害者の体験発表会の内容をまとめる。

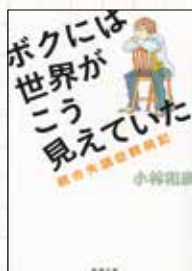
## うつ病



**ツレと貂々、  
 うつの先生に会いに行く**  
**細川貂々、大野裕 著** (朝日新聞出版)

『ツレがうつになりました』の著者が、精神科医の大野裕先生に「どうしてうつになったの?」「うつって、何なの?」と素朴な疑問をぶつけるイラストエッセイ。うつ病のひみつがよくわかる。

## 統合失調症



**ボクには世界がこう見えていた**  
**——統合失調症闘病記**  
**小林和彦 著** (新潮文庫)

早稲田大学を出てアニメーション制作会社へ入ったごく普通の青年。24歳のある日を境に、突飛な大言壮語をし、盗聴されている、毒を盛られるといった妄想を抱き始め……。四半世紀に亘る病の経過を患者本人が綴る闘病記。